

<大震災発生時を想定した図書館シミュレーションプログラム:タイムテーブル(兼ナレーション等シナリオ)>

通番	現実時刻	ナレーション/防災センター	望ましい対応
0	10:00	<p>【緊急地震速報の音声と画面表示】</p> <p>嶋田「小刻みな揺れが数秒続いた後、突き上げるような揺れが発生しました。地震です。」</p> <p>嶋田「事務室では、ロッカーが倒れ、棚や机の上から物品が落下しています。」</p> <p>嶋田「カウンターでは、明らかに書架が大きく揺れているのがわかります。本が書架から落下しました。」</p> <p>【スライド切り替え表示(YouTubeも)】</p>	<p>身の安全を守りつつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室職員は館内に声かけを行う。</li> <li>・カウンター職員はカウンターからの呼びかけを行う。</li> </ul> <p>※呼びかけ事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「落ち着いてください。」</li> <li>・「本棚から離れてください。」</li> <li>・「机の下に入ってください。」</li> </ul>
1	10:03	<p>嶋田「いままでに経験したことのない揺れが収まりました。館内では利用者の悲鳴が聞こえます。」</p> <p>嶋田「自分自身、かつてない恐怖に膝が震えていることがわかります。」</p> <p>嶋田「周囲を見渡すと、さっきまで使っていたパソコンの画面が消えています。停電したようです。非常灯が点灯しています。」</p> <p>嶋田「こちらは防災センターです。ただいま非常に大きな地震が発生しました。本施設を含む県内一帯で震度6強を観測しています。館内の方は、余震の発生に注意しながら、安全を確認して、慌てずに建物の外に避難してください。この近隣の広域避難所は勾当台公園です。」</p>	<p>職員間で安全確認をしあう。</p> <p>即座にこの次の行動をお互いに確認しあう。</p>
2	10:05	<p>嶋田「ナビゲーターから封筒(1)を受け取り、開封してください。そこに現在発生している状況の一部が記載されています。」</p> <p>嶋田「そこに記載されている内容を事実と考えて、行動してください。これからとる行動は模造紙や付箋に記録してください。」</p>	<p>事務室とカウンターの職員間で状況を共有する。</p>
3	10:15	<p>嶋田「ナビゲーターから封筒(2)を受け取り、開封してください。そこに新たに判明した状況が記載されています。」</p> <p>嶋田「そこに記載されている内容を事実と考えて、行動してください。これからとる行動は模造紙や付箋に記録してください。」</p> <p>嶋田「こちらは防災センターです。さきほど非常に大きな地震が発生しました。まだ、建物内に残っている方は、余震の発生に注意しながら、安全を確認して、慌てずに建物の外の広い場所へ避難してください。この近隣の広域避難所は勾当台公園です。」</p> <p>嶋田「防災センターの放送を聞いて、利用者が移動を始めたようです。階段のほうから足音や声が聞こえます。」</p> <p>嶋田「地震の発生から15分が経過しています。いま自分たちが置かれている状況で最善の判断を下し、迅速に行動してください。」</p>	<p>全職員間で情報共有を行う。</p> <p>(重傷利用者の救護を行う)。</p> <p>行方不明利用者の捜索を目安を定めて行う(同時に見切りをつける)。</p>
4	10:20	<p>嶋田「こちらは防災センターです。まだ余震が続いています。建物内にいることは大変危険です。まだ、建物内に残っている方は、安全を確認して、必ず建物の外の広い場所へ避難してください。この近隣の広域避難所は勾当台公園です。」</p>	<p>避難方針の確定</p> <p>避難ルートの検討(自動ドアの開閉)</p> <p>一次避難の開始</p>

5	10:30	<p>嶋田「図書館の外の広い場所へ避難が終わったでしょうか」。</p> <p>嶋田「こちらは防災センターです。建物の外の広い場所に避難したら、各施設の責任者は、現在、判明している状況を防災センターに報告してください」。</p> <p>※模造紙に記入してもらう。</p>	<p>一次避難を完了する。</p> <p>防災センターへの報告を完了する。</p>
6	10:40	<p>嶋田「ナビゲーターから封筒(3)を受け取り、開封してください。そこに新たに判明した状況が記載されています」。</p> <p>嶋田「そこに記載されている内容を事実と考えて、行動してください。これからとる行動は模造紙や付箋に記録してください」。</p>	<p>行方不明利用者の捜索を目安を定めて行う(同時に見切りをつける)。</p> <p>精神的に不安定な利用者に寄りそう。</p> <p>(負傷者の救護を行う)。</p>
7	10:50	<p>嶋田「こちらは防災センターです。まだ余震が続いています。また、県内の一部地域で火災が発生しています。交通機関は全面的に停止している模様です。なお、この地震による津波の恐れはありません」。</p> <p>嶋田「ナビゲーターから封筒(4)を受け取り、開封してください。そこに新たに判明した状況が記載されています」。</p> <p>嶋田「そこに記載されている内容を事実と考えて、行動してください。これからとる行動は模造紙や付箋に記録してください」。</p>	<p>少人数グループでの荷物の取り出しを行う(同時に見切りをつける)。</p> <p>行方不明利用者の捜索を目安を定めて行う(同時に見切りをつける)のと併行して、行方不明利用者の氏名等を防災センターに届け出る。</p> <p>図書館の施錠方針を確定する。</p>
8	11:00	<p>嶋田「こちらは防災センターです。気象庁の発表によると、引き続き大きな余震が発生する可能性があるとのこと。建物の中には絶対に入らないでください」。</p> <p>嶋田「こちらは防災センターです。現在までの情報を総合すると、皆さまの帰宅には相当な困難が予測されます。無理に帰宅しようとせず、収容避難所である立町(たちまち)小学校に避難してください。立町(たちまち)小学校は耐震設計が十分になされており安全です。慌てずに立町(たちまち)小学校に移動してください」。</p> <p>嶋田「こちらは防災センターです。いま伝えましたように、無理に帰宅せずに立町(たちまち)小学校に避難してください」。</p>	<p>荷物の取り出しを中止する。</p> <p>行方不明利用者の捜索を中止する。</p> <p>施錠方針に従って、図書館を施錠する、あるいは施錠しないままにする。</p>
9	11:10	<p>嶋田「こちらは防災センターです。立町(たちまち)小学校に避難したら、各施設の責任者は、現在、判明している状況を防災センターに報告してください」。</p> <p>※模造紙に記入してもらう。</p>	<p>二次避難を完了する。</p> <p>防災センターへの報告を完了する。</p>
10	11:20	<p>嶋田「訓練はこれにて終了です。皆さま、お疲れ様でした。ここでいったん休憩に入ります」。</p>	